

第362号 平成30年1月

東京都農業会議情報

編集及び発行 東京都農業会議

渋谷区代々木2-10-12
TEL 03-3370-7146

新年にあたって

(一社) 東京都農業会議 会長 青山 侑



青山会長

あけまして

おめでとーございます

昨年は、33農業委員会で第23期統一改選が行われ、多くの女性農業委員、農地利用最適化推進委員が誕生いたしました。

都市農業に関しては、生産緑地の下限面積や一団性要件の緩和、特定生産緑地制度の創設、追加指定・再指定の運用改善など生産緑地法の改正がされました。また、都市農地の貸借に関する法律案や、貸しても相続税納税猶予制度が継続可能となるような提案が、年

末の税制改正大綱に示されるなど農業者の今までの要望が実現するような内容となっております。

農山村・島しょ農業では、生産・流通条件が厳しい中で農地の有効利用と生産振興のために「意見書の提出」

第59回東京都農業委員・農業者大会を開きます

都農業会議と農業委員会地区協議会・連合会は「第59回東京都農業委員会・農業者大会」を平成30年2月22日(木)、午後1時より瑞穂町のスカイホールにて開きます。

大会では、国の農業施策に対する要望事項や、農業委員会活動の積極的推進に

が行われ、農業委員会活動の重要性が高まっております。国民からの安全・安心な食べ物やまちづくりへの社会的貢献等に期待が寄せられております。そのために、将来にわたり農業経営が継続できる農業施策が構築されるよう努めて参ります。

農業委員会活動推進フォーラム開く

都農業会議は、このほど農業委員会活動推進フォーラムを開きました。



農業委員・推進委員における女性の活躍について講演する横山さん

統一改選により多くの女性農業委員・推進委員が誕生したことから、経験豊富な埼玉県女性農業委員協議会の横田友会長を講師に迎え、女性委員の活動について講演を行いました。

青梅市の新規就農者と新規参入法人の取組を研究

農業委員・農地利用最適化推進委員現地研究会

都農業会議は、12月20日に青梅市で農業委員・農地利用最適化推進委員現地研究会を開きました。

新規就農者と新規参入法人の状況を研究し、その取り組みについて意見交換をしました。

本研究会は、農委法法の改正により新たに必須業務として位置づけられた「農地の利用の最適化の推進」について、都内の市街化調整区域における農地の流動化について研究しようとしたもので、農業委員・推進委員の役割など座学による研究をし、その後現地研究を行いました。



青梅市で一般法人として農業参入した(株)カミーノの松尾農場長より生産状況等について話しを聞く

農地利用最適化に向けた施策推進など決議 東京選出の国会議員と意見交換を実施

全国農業委員会会長代表者集会

11月30日、港区のメルパルクホールにおいて全国農業委員会会長代表者集会が開かれました。この集会は（一社）全国農業会議所（二田孝治会長）の主催で東京からは19区市の農業委員会長らが出席しました。



参加した農委会長は都選出の国会議員と意見交換をした

第1部では、パネルディスカッションが行われ、岩手県岩手町や茨城県茨城町、千葉県香取市、兵庫県南あわじ市の農業委員会から農地利用の最適化に関する先進的な取組について発表されました。

第2部の協議では「農地利用の最適化に向けた施策推進に関する要請」や「新・農地を活かし、担い手を応援する全国運動の推進に関する申し合わせ」、「情報提供活動の一層の強化に関する申し合わせ」などが全会一致で決議されました。

集会の終了後、東京の農委会長らは衆議院第二議員会館に移動し、東京都選出の国会議員との意見交換会を開きま

した。
この意見交換会には6人の衆議院議員が出席し、都市農地の貸借に関する法案ならび

農業者年金の加入推進活動や

制度の概要など研究 農業者年金制度推進研究会

都農業会議は、11月21日に農業者年金制度推進研究会を開き、農委会・JA職員、加入推進員（農業委員）など37人が出席しました。

農業会議の職員より都内の加入推進の状況などを説明した後、長野県山ノ内町農業者年金協議会の佐々木明雄顧問が講演をし、地域の農業者への効果的な加入推進の方法として、節税効果や保険料の付

利率の高さなどを具体的な数字で示すことなどが紹介されました。

に税制改正をめぐる状況や都市農業の振興および担い手の支援などについて活発に意見交換をしました。



農業者年金の加入推進について説明をする佐々木明雄さん

都内全域で農地利用状況調査を実施 重点的な農地・パトロールに取り組む

農地管理・流動化推進月間

都内各区市町村は、8月から10月を農地管理・流動化推進月間と設定し農地パトロールをはじめ、農地利用状況調査（農地法第30条）などに取り組みました。

特に農地利用状況調査については、農業委員・農地利用最適化推進委員が日常活動として地域の全農地を見まわることとしており、本月間では地域の見回りの強化と農業委員会組織として重点的な農地

パトロールに取り組むこととしています。
狛江市農業委員会（本橋正美会長）は、委員全員で生産緑地や納税猶予適用農地などの重点地をマイクロバスで回り調査をし、同日中に調査結果について話し合っています。
また、町田市農業委員会（吉川庄衛会長）は、調査を通して同市の農地バンクを周知し、2件のバンク登録に結び付けています。

12月理事会

12月18日にJA東京南新宿ビル会議室で開き、
①臨時総会を1月30日（火）午後2時よりJA東京南新宿ビル会議室で開催する、②提出する3議案を決定。
第9回常設審議委員会
12月18日理事会終了後開催。

議事

農地法の農業委員会会長諮問第4条1件5、035.mを許可相当と答申することを決定。

報告

11月16日～12月17日の業務報告と今後の会議開催計画を説明。②11月の転用許可状況を東京都が報告。

協議

①平成30年2月22日（木）開催の第59回東京都農業委員会・農業者大会開催要領と第44回農業委員会等功労者表彰者を決定②農地管理・流動化推進月間の活動状況等を報告。③納税猶予適正化協議会の状況と④農政問題として、税制改正大綱等を説明した。

理事会・常設審議委員会だより

農家座談会などで情報発信・意見集約 農業祭などで地域農業や農業委員会活動をPR

農業委員会活動特集

都内の多くの農業委員会では農家座談会などを開き、改正された生産緑地法など農地制度等の情報の発信や農業者からの地域農業についての意見集約に取り組んでいます。

また、各自自治体の農業祭などに参加し、地元の農業や農業委員会活動を紹介し、地域住民が農業への理解を深めることのできる機会を作っています。

左記では、最近行われた農業委員会活動の一部をご紹介します。

農家座談会などで農地制度などの情報の発信や農業者からの意見集約に取り組む

国分寺市

国分寺市農業委員会（田中



国分寺市の懇談会の様子



日の出町ではじめての開催となった意見交換会

豊会長）は市内4カ所にて懇談会を開き、40人以上が参加しました。懇談会では、最初に9月〜10月に行われた農地利用状況調査の結果報告が行われました。続いて「生産緑地制度の改正と今後の動向について」と題した講演が行われました。

日の出町

日の出町農業委員会（神田功会長）は認定農業者と農業委員会との意見交換会をはじめ、20人以上が参加しました。

主に新しく導入される収入保険制度について研究する機会となりました。参加者からは制度の仕組み

などについて多くの質問が出されました。

東村山市

東村山市農業委員会（肥沼和夫会長）は、5カ所にて座談会を開き約140人が参加しました。

座談会では、農業委員会、JA、同市農業者クラブの3者から活動報告が行われました。

その後、東京都の補助事業や改正生産緑地法、全国農業新聞の購読普及、農業者年金などについて説明が行われました。

昭島市

昭島市農業委員会（鈴木勇作会長）は、昭島市都市農政推進協議会（鈴木実会長）と合同の講演会を開き、都市農業を巡る情勢について研究しました。



のらぼう菜の苗の配布や制度の説明をした（八王子市）



のらぼう菜の苗を配布し農業委員会活動をPR（瑞穂町）

多摩市

多摩市農業委員会（小暮和幸会長）は、農業者と農業委員会との意見交換会を開き、約30人が参加し、改正生産緑地法等の情勢について研究しました。

産業祭や農業祭に参加し、地域住民に地域の農業や農業委員会活動をPR

瑞穂町

瑞穂町農業委員会（上野勝会長）は、同町の産業祭に参加し、のらぼう菜の苗の無料配布などを行ったほか、地元農業や農業委員会活動のPRなどを行いました。

八王子市

八王子市農業委員会（鈴木勝久会長）でも、農業祭に参加し、のらぼう菜の苗の無料配布を行ったほか、農地の流動化や同市の農地バンク制度

などについて紹介しました。

三鷹市

三鷹市農業委員会（根岸穂会長）は、同市の農業祭に参加し、農業委員会主催の写真コンテストの作品展示や市民が江戸東京野菜への理解を深めるイベントなどを行いました。

清瀬市

清瀬市では、農業委員会の松村俊夫会長が農業まつり実行委員会会長を務め、農業委員会、清瀬市、JAなどが協力し、農業まつりを開きました。

苗木の無料配布や園芸相談、鉢花の無料配布などは農業委員会が中心となってイベントを進めました。

こうした各農業委員会の活動が行政への意見提出や都市農業への理解促進に結びついています。



江戸東京野菜のクイズを市民に出題（三鷹市）

農業者と消費者で「食と農セミナー」開く

12月8日、中野サンプラザにて都農業会議と東京都農業経営者クラブ（眞利子伊知郎会長）、東京都消費者月間実行委員会（棚橋節子会長）の共催により「食と農セミナー」を開きました。

都内の農業者と消費者が交流しながら共に学ぶ場をつくらうと企画され、189人が参加しました。

前半は料理家のタカコナカムラさんを講師に迎え「ホールフードってなあに？」をテーマに講演が行われました。講演では、野菜をまるごと活用する調理方法を提案するとともに「安全でおいしい農産物を求め



ホールフードについて講演するタカコナカムラさん

東京都農業会議
東京都農業経営者クラブ
東京都消費者月間実行委員会

るなら頑張っている農業者を応援しよう」と呼びかけました。

立川市と瑞穂町の農業を見学

東京農業を巡るバスツアー開く



野菜の品種などについて参加者に説明する田口明日香さん

後半は参加者を16の班に分け、それぞれ農業者と消費者が自由に意見交換を行いました。

参加した消費者からは「都内の農業者と直接いろいろ話ができて良かった」といった感想が聞かれました。

東村山市の農業を消費者が見学

農業応援バスツアー開く

東京都農業経営者クラブと東京都消費者月間実行委員会は、東村山市と共催で農業応援バスツアーを開きました。



農業応援バスツアー東村山中村さんの果樹園を見学

法人化による農業経営や農業参入を研究

農民生産の法人化と農業の貸借雇用の活用研究会開く

都農業会議は、農民生産の法人化と農地の貸借・雇用の活用研究会を12月14日に八王子市で、21日に、あきる野市で開きました。

本研究会は、都内の市街化調整区域で農業参入した法人の取り組みなどを研究するため開き、両日ともに約30人が参加者しました。

八王子市では、農地所有適格法人として、福祉事業と連携した経営を実践する（株）グリーンガーラの取り組みを、あきる野市では、農業体験農園と江戸東京野菜の生産を経営の軸とし、一般法人として農業参入した生活クラブ生活協同組合・東京の取り組みをそれぞれ研究しました。



ストップ遊休農地再生事業で再生・整備した(株)グリーンガーラの農場を見学する

2月～3月の日程

- 2・1 (木) 組織・活動検
- 2・2 (金) 農委会活動研
- 2・9 (金) 組織・活動検
- 2・16 (金) 理事会
- 2・16 (金) 常設委員会
- 2・16 (金) 大会運営
- 2・22 (木) 農委会大会
- 3・2 (金) 主任職員協
- 3・16 (金) 通常総会
- 3・16 (金) 常設委員